

管建 技術者の功績たたえる 帯広 優良工事現場代理人を表彰

【帯広】帯広管建は9日、十勝合同庁舎で2010年度優良工事現場代理人等表彰式を開き、優秀な成績を収めた管内の工事7社、委託3社の各技術者に表彰状を授与した。

10年度に発注し、完了検査をした工事296件、委託241件を対象に審査。工事は、一般土木がA等級で鈴木康貴(西江建設)、B等級で名田時美(三島組)、C等級で万真典(万和建

設)、D等級で嶋元弘(チカムラ技建)、舗装で鈴木公次(東日本道路)と太田昌宏(東光舗道)、鋼橋上部ほかで小島得秀(官坂建設工業)の7氏を選んだ。委託は、測量で伊藤勝之(平田技術コンサルティング)、設計で高橋謙二(土木技術コンサルティング)、技術資料作成で高橋浩史(スコ

ー)の3氏。同部担当の木村篤十勝総合局副局長は「皆さんの功績をたたえるとともに、優れた技術によって生み出された施設や報告書などを納品していただき、感謝している」と受賞者に敬意を表し、さらなる技術力向上を求めた。



木村副局長(左)から現場代理人らに表彰状が授与された